

第7回勉強会を開催しました！

開催日時：令和4年12月19日（月）18:00～20:00

開催場所：大田区民プラザ 第1・2会議室

参加者：14名（傍聴者：6名）

レクチャー（下丸子駅周辺地区まちづくり構想（素案）について共有）

これまで勉強会等でいただいたご意見に対し、『下丸子駅周辺地区まちづくり構想（素案）』にどのように反映したか説明し共有しました。また、まちづくり構想の策定に向けて令和5年1月頃に実施する「パブリックコメント」や「区民説明会」、「オープンハウス型説明会」の内容やスケジュールを共有しました。

<レクチャーの様子>



ワークショップ

「まちづくり構想（素案）について考えよう②！」をテーマに、3つのグループに分かれてワークショップを行いました。ワークショップでは、『視点①：まちづくり構想が実現された姿について』、『視点②：まちづくり構想（素案）』について意見交換をし、それぞれ、まちづくり構想（素案）から将来のイメージが想像できるか、これまでの勉強会の内容が反映されているか、追加で記載すべき要素はないか等について確認しました。各グループからいただいたご意見の一部をご紹介します。

<Aグループ>

視点①	<ul style="list-style-type: none">・ ガス橋通り、下丸子駅周辺のイメージが沸かない。イメージが沸くようなアウトプットの仕方が重要・ ガス橋通りは通行量も多く、アクセスルートについての関心は高い・ にぎわい、ウォーカブルの推進には目的地が必要になる 等
視点②	<ul style="list-style-type: none">・ 人口減少とまちの作り方についてどう考えるか・ 便利なまちより不便でも生きがいのあるまちになると良い・ ものを作る会社も大切にしたい・ 区画整理等の整備をどこまで考えるか・ 勉強会にもっと参加して欲しい 等

<ワークショップの様子>



<Bグループ>

視点①	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川線の他駅との差別化・機能分担はあるのか ものづくりの歴史を伝える拠点施設が必要 案内サインや回遊路の設定により、まち全体でもものづくりの歴史を伝える 駅前の空間はスケールが大きいイメージ ガス橋通りのイメージがさみしい 等
視点②	<ul style="list-style-type: none"> 地域企業の協力を期待し次の世代につなげていく 防災拠点としての具体的な機能が見えづらい イメージパースで下丸子らしさがどのように見せられるか期待している 等

<ワークショップの様子>



<Cグループ>

視点①	<ul style="list-style-type: none"> インキュベーション施設のイメージが固い 駅前広場を子育ての人たちが話せる場所にしたい 駅前広場を企業活用できる場所にして欲しい 踏切が解消された場合、南北の動線を活かすような仕組みづくりが必要 商店街は昔からのお店があるイメージだが、お洒落な新しい店もあり、ポテンシャルがある 等
視点②	<ul style="list-style-type: none"> 防災拠点をどうするかが見えづらい モビリティハブのイメージがつきにくい 寺社等自然や歴史をめぐりたくなるような情報が少ない 下丸子らしさが少し弱い。エリアプラットフォームにもものづくりを入れてはどうか 等



まちづくり構想（素案）について皆さんのご意見を募集しました！

第7回勉強会のご意見を反映した「まちづくり構想（素案）」について、区民意見公募手続き（パブリックコメント）を実施しました。今後、提出されたご意見の要旨と区の考えについて公表する予定です。

実施期間：令和5年1月13日から令和5年2月2日（木）まで

公開：取りまとめ次第区Webサイトにて

第8回勉強会の開催について

テーマ：『まちづくり構想の実現に向けた今後の取組を考えよう！』

開催時期/場所：令和5年3月1日（水）／鶉の木特別出張所

※ワークショップの配布資料や議事概要は区HPで確認することができます。また、勉強会の傍聴も可能ですのでお気軽に以下の問い合わせ先までご連絡ください。（要予約）

【お問い合わせ先】

大田区 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課（担当：松島、雲藤、小原）

TEL：03-5744-1212（直通） FAX：03-5744-1526

E-mail：kaihatsu@city.ota.tokyo.jp

下丸子駅周辺のまちづくりの

詳細は区Webサイトをご覧ください

区Webサイトはこちらから⇒

